

目次 (令和6年度実施計画書)

※朱書きは新規事業

【施策の大綱3】豊かな自然と歴史文化を守り継承します

ページ	大綱	分野	事業名	課名
101	3	8-1	合併処理浄化槽設置整備事業	住民生活課
102	3	8-1	不法投棄未然防止対策事業	住民生活課
103	3	9-1	家庭系ごみ収集運搬委託事業	住民生活課
104	3	9-1	一般廃棄物減量化事業	住民生活課
105	3	9-1	ごみ処理施設広域化事業	住民生活課
106	3	10-1	歴史的資料整理公開活用事業	企画課
107	3	10-1	中城城跡整備事業	生涯学習課
108	3	10-1	中城ハンタ道整備事業	生涯学習課
109	3	10-1	文化財整備事業	生涯学習課
110	3	10-2	文化振興事業	生涯学習課

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 合併処理浄化槽設置整備事業													
令和5年度 事業費	6,008	千円	令和6年度 事業費	6,008	千円	対前年度 増減額	0	千円	総事業費 (令和6～8年度)	OK	千円	事業区分	継続事業

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課				
生活雑排水による河川等公共水域の水質汚濁防止を目的として、合併処理浄化槽の新設及び単独浄化槽等からの切換に対する補助金制度。対象地区は、公共下水道整備計画区域外及び下水道整備計画区域内であっても7年以内に下水道接続が見込まれない地域。			施策の大綱		3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します				住民生活課				
			基本施策		⑧中城の美しい自然環境を保全します				担当係	生活環境係			
			分野		8-1 自然環境の保全				担当名	宮城正也			
			その他関係施策						内線番号	137			
事業期間			令和		6	年	～	令和	8	年	積算資料	有	

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
水環境の保全を目的として、合併処理浄化槽設置に係る費用負担の軽減を図る。課題としては、合併処理浄化槽設置後の適正管理（清掃・点検の義務）の必要性を周知する必要がある。					合併浄化槽の普及により、河川や海水域、用水路等の汚染を防止し、環境負荷を軽減することで生活環境の保全及び循環型社会形成推進される。				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
合併処理浄化槽補助金	6,008	5人槽:332,000円×9基	合併処理浄化槽補助金	6,008	5人槽:332,000円×9基	合併処理浄化槽補助金	6,008	5人槽:332,000円×9基
		7人槽:414,000円×2基			7人槽:414,000円×2基			7人槽:414,000円×2基
		10人槽:548,000円×4基			10人槽:548,000円×4基			10人槽:548,000円×4基
合計	6,008		合計	6,008		合計	6,008	

令和6年度 財源内訳					令和7年度 財源内訳					令和8年度 財源内訳				
国庫補助金名	金額	千円	%		国庫補助金名	金額	千円	%		国庫補助金名	金額	千円	%	
地方創生整備推進交付金	2,000	千円	33.3%		地方創生整備推進交付金	2,000	千円	33.3%		地方創生整備推進交付金	2,000	千円	33.3%	
県補助金名		千円			県補助金名		千円			県補助金名		千円		
地方債		千円			地方債		千円			地方債		千円		
その他()		千円			その他()		千円			その他()		千円		
一般財源	4,008	千円	66.7%		一般財源	4,008	千円	66.7%		一般財源	4,008	千円	66.7%	

令和6年度目標 (KPI等)	合併処理浄化槽の普及 槽:9基 7人槽:2基 10人槽:4基	5人	令和6年度 との相違点	合併処理浄化槽の普及 槽:9基 7人槽:2基 10人槽:4基	5人	令和7年度 との相違点	合併処理浄化槽の普及 槽:9基 7人槽:2基 10人槽:4基	5人
今後の展開	単独浄化槽からの切換を重点的に周知を図る。		目標	単独浄化槽からの切換を重点的に周知を図る。		目標	単独浄化槽からの切換を重点的に周知を図る。	

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 不法投棄未然防止対策事業													
令和5年度 事業費	5,968	千円	令和6年度 事業費	5,968	千円	対前年度 増減額	0	千円	総事業費 (令和6～8年度)	17,904	千円	事業区分	継続事業

事業概要 不法投棄監視パトロールや監視カメラ及び看板設置を実施し、不法投棄未然防止対策を実施する。不法投棄の早期発見や迅速かつ適正な処理を実施し、景観及び生活環境の保全を図る。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します										住民生活課	
	基本施策	⑧中城の美しい自然環境を保全します										担当係	生活環境係
	分野	8-1 自然環境の保全										担当名	宮城正也
	その他関係施策											内線番号	137
事業期間	令和	6	年	～	令和	8	年	積算資料	無				

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
不法投棄は、廃棄物の不適正処理による環境汚染、景観の悪化を招き、土地の適正利用の妨げとなるなど生活環境への悪影響が大きい。村内においては、大規模な産業廃棄物の不法投棄は減少傾向にあるが、家庭系ごみ・家電リサイクル法対象の家電や、ペットボトル・空き缶等の「ごみのポイ捨て」があとを絶たない状況であり、地域の推進員設置等の対策を検討する必要がある。					不法投棄の監視及び広報等による「不法投棄は犯罪である。」村民の意識啓発することで「ごみのポイ捨て」を減らすことができ、また、不法投棄の早期発見・収集・適正処理を行うことで生活環境及び景観の保全に繋がることが期待できる。				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
人件費	4,863	会計任用職員2名	人件費	4,863	会計任用職員2名	人件費	4,863	会計任用職員2名
消耗品費	50	看板等	消耗品費	50	看板等	消耗品費	50	看板等
燃料費	120	軽トラ燃料	燃料費	120	軽トラ燃料	燃料費	120	軽トラ燃料
修繕費	75	軽トラ修繕	修繕費	75	軽トラ修繕	修繕費	75	軽トラ修繕
手数料	660	不法投棄処理費	手数料	660	不法投棄処理費	手数料	660	不法投棄処理費
重機借上料	200	不法投棄運搬費	重機借上料	200	不法投棄運搬費	重機借上料	200	不法投棄運搬費
合計	5,968		合計	5,968		合計	5,968	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()	不法投棄未然防止事業協力金	1,075	千円 18.0%	その他()	不法投棄未然防止事業協力金	1,075	千円 18.0%	その他()	不法投棄未然防止事業協力金	1,075	千円 18.0%
一般財源		4,893	千円 82.0%	一般財源		4,893	千円 82.0%	一般財源		4,893	千円 82.0%

令和6年度目標 (KPI等)	不法投棄パトロールの強化 通報後の即時対応（警告看板設置等） 早期回収、監視の強化（監視カメラの増設）	令和6年度 との相違点	既設及び増設したカメラを不法投棄頻繁箇所にも効果的に設置し、投棄者の特定を目指す。	令和7年度 との相違点	既設及び増設したカメラを不法投棄頻繁箇所にも効果的に設置し、投棄者の特定を目指す。
今後の展開	監視カメラの増設、警察と連携して抑止力の強化を図る。	目標	監視カメラを活用しつつ、関係機関と連携、地域からの情報、定期パトロール、推進員設置の検討を実施し、不法投棄の防止対策を図る。	目標	監視カメラを活用しつつ、関係機関と連携、地域からの情報、定期パトロール、推進員設置の検討を実施し、不法投棄の防止対策を図る。

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 家庭系ごみ収集運搬委託事業													
令和5年度 事業費	46,567	千円	令和6年度 事業費	46,567	千円	対前年度 増減額	0	千円	総事業費 (令和6～8年度)	139,701	千円	事業区分	継続事業

事業概要				第五次総合計画での位置付け				担当課					
家庭ごみの戸別収集及び運搬 ・塵芥収集：可燃、不燃、危険ごみ 2社 ・資源ごみ収集：ビン、缶、古紙、古布、ペットボトル等 1社 ・粗大ごみ収集：指定ごみ袋に入らない家庭ごみ 1社 ごみの有料化による戸別収集を実施し、ごみの分別等排出責任を涵養し、減量化・再資源化・適正処理を推進する。				施策の大綱		3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します				住民生活課			
				基本施策		⑨地球環境に配慮した取組みを推進します				担当係		生活環境係	
				分野		9-1 ゴミ減量とリサイクルの促進				担当名		宮城正也	
				その他関係施策						内線番号		137	
				事業期間		令和 6 年 ～ 令和 8 年				積算資料		無	

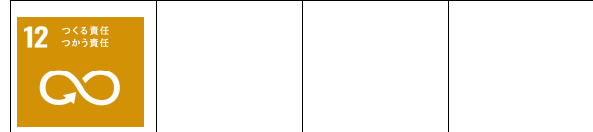
事業を実施する必要性と現状の課題				事業実施効果			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2（市町村の処理等） 家庭ごみを戸別収集・運搬し、ごみ処理施設において適正処理を行い生活環境の保全を図る。また、随時、効率的なごみ収集ができるよう、収集方法・体制の見直しを実施する。				戸別収集の実施により、ごみ分別に対する排出責任意識を高め、適正処理により生活環境の保全及び再資源化の推進が図られる。			

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
塵芥収集運搬委託料	24,129	塵芥収集 2社	塵芥収集運搬委託料	24,129	塵芥収集 2社	塵芥収集運搬委託料	24,129	塵芥収集 2社
粗大ごみ収集運搬委託料	3,468	粗大ごみ 1社	粗大ごみ収集運搬委託料	3,468	粗大ごみ 1社	粗大ごみ収集運搬委託料	3,468	粗大ごみ 1社
資源ごみ収集運搬委託料	18,970	資源ごみ 1社	資源ごみ収集運搬委託料	18,970	資源ごみ 1社	資源ごみ収集運搬委託料	18,970	資源ごみ 1社
合計	46,567		合計	46,567		合計	46,567	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()		千円		その他()		千円		その他()		千円	
一般財源	46,567	千円	100.0%	一般財源	46,567	千円	100.0%	一般財源	46,567	千円	100.0%

令和6年度目標 (KPI等)	ごみの分別を徹底し、ごみの排出責任意識を高め1人あたりの排出量の抑制及び再資源化を推進する。	令和6年度との相違点	ごみの排出責任を高め、ごみの減量化・再資源化を推進する。	令和7年度との相違点	ごみの排出責任を高め、ごみの減量化・再資源化を推進する。
今後の展開	収集体制、再資源化収集等の見直し等を検討する。	目標	1人あたりのごみの排出量の抑制及び再資源化を推進する。	目標	1人あたりのごみの排出量の抑制及び再資源化を推進する。

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名	一般廃棄物減量化事業							
-----	------------	--	--	--	--	--	--	--

令和5年度 事業費	14,285	千円	令和6年度 事業費	5,776	千円	対前年度 増減額	▲ 8,509	千円	総事業費 (令和6～8年度)	34,346	千円	事業区分	継続事業
--------------	--------	----	--------------	-------	----	-------------	---------	----	-------------------	--------	----	------	------

事業概要 指定ごみ袋の有料化等などの施策により、ごみ排出量の抑制による減量化や、ごみや環境に対する住民の意識改革を図る。	第五次総合計画での位置付け								担当課		
	施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します						住民生活課			
	基本施策	⑨地球環境に配慮した取組みを推進します						担当係	生活環境係		
	分野	9-1 ゴミ減量とリサイクルの促進						担当名	宮城正也		
	その他関係施策							内線番号	137		
事業期間	令和	6	年	～	令和	8	年	積算資料	有		

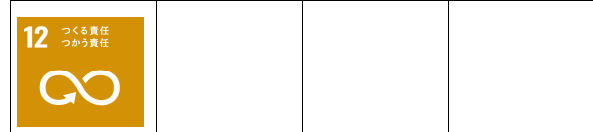
事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
家庭から排出されるごみについて、ごみ袋の有料化・草木の資源化・民間との連携によるリユース等の施策を実施し、分別の徹底による再資源化及びごみの減量化を図る必要がある。また、社会情勢の変化及び近隣市町村の動向に応じて一般廃棄物処理手数料の見直しを実施する。	種類別指定ごみ袋による有料収集・草木の資源化・民間との連携によるリユース等の施策を行い、家庭ごみ分別の徹底による住民1人あたりの、ごみ排出量の減量化・再資源化・適正処理が期待される。 R3家庭ごみ（資源ごみ除く）4,490,070kg/22,076人=203.39kg/人 R4家庭ごみ（資源ごみ除く）4,490,340kg/22,351人=200.90kg/人

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
指定ごみ袋購入費	2,191	指定ごみ袋印刷製造	指定ごみ袋購入費	10,056	指定ごみ袋印刷製造	指定ごみ袋購入費	10,056	指定ごみ袋印刷製造
販売処理事務手数料	3,585	販売処理事務委託料	販売処理事務手数料	4,229	販売処理事務委託料	販売処理事務手数料	4,229	販売処理事務委託料
合計	5,776		合計	14,285		合計	14,285	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名		千円		県補助金名		千円		県補助金名		千円	
地方債		千円		地方債		千円		地方債		千円	
その他()		千円		その他()		千円		その他()		千円	
一般財源		5,776	千円 100.0%	一般財源		14,285	千円 100.0%	一般財源		14,285	千円 100.0%

令和6年度目標 (KPI等)	浦添市・中城村・北中城村地域計画（新ごみ処理施設）に基づき、年間1人あたり排出量を、前年比減を目標とする。	令和6年度との相違点	1人あたりのごみの排出量が減少した場合でも人口増加等を加味し、ごみ袋の使用料に大きな変化はないと予想し現状維持とした。	令和7年度との相違点	1人あたりのごみの排出量が減少した場合でも人口増加等を加味し、ごみ袋の使用料に大きな変化はないと予想し現状維持とした。
今後の展開	ごみの分別徹底、減量化、再資源化に対する意識の高揚を図る。	目標	ごみ処理広域化・新ごみ処理施設の稼働を見据え、分別・収集区域・手数料等の見直しを検討する。	目標	ごみ処理広域化・新ごみ処理施設の稼働を見据え、分別・収集区域・手数料等の見直しを検討する。

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名	ごみ処理施設広域化事業									
-----	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和5年度 事業費	6,295	千円	令和6年度 事業費	115,444	千円	対前年度 増減額	109,149	千円	総事業費 (令和6～8年度)	430,519	千円	事業区分	継続事業
--------------	-------	----	--------------	---------	----	-------------	---------	----	-------------------	---------	----	------	------

事業概要 浦添市・中城村・北中城村の1市2村で新一般廃棄物処理施設を共同で整備し、事務の委託によりごみ処理の広域化を図る。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します										住民生活課	
	基本施策	⑨地球環境に配慮した取組みを推進します										担当係	生活環境係
	分野	9-1 ゴミ減量とリサイクルの促進										担当名	宮城正也
	その他関係施策											内線番号	137
事業期間	令和	6	年	～	令和	8	年	積算資料	無				

事業を実施する必要性と現状の課題						事業実施効果					
中城村・北中城村ともに一般廃棄物の排出量は増加しており、現在の施設（青葉苑）では処理能力超過が見込まれる。新しい施設建替の用地確保が困難であるため、1市2村で浦添市に新ごみ処理施設を共同建設し事務の委託において広域処理を行う。						建替えが困難である現施設（青葉苑）にかわる次期処理施設が確保され、住民及び企業活動の進展に伴い増加する一般廃棄物の適正処理が可能となる。					

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
負担金	6,194	新一般廃棄物処理施設	負担金	30,295	新一般廃棄物処理施設	負担金	66,280	新一般廃棄物処理施設
積立金	109,250		積立金	109,250		積立金	109,250	
合計	115,444		合計	139,545		合計	175,530	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	千円	県補助金名	千円	国庫補助金名	千円	県補助金名	千円	国庫補助金名	千円	県補助金名	千円
地方債		地方債		地方債		地方債		地方債		地方債	
その他()		繰入金	30,295	繰入金	30,295	千円	21.7%	繰入金	66,280	千円	37.8%
一般財源	115,444	千円	100.0%	一般財源	109,250	千円	78.3%	一般財源	109,250	千円	62.2%

令和6年度目標 (KPI等)	R6 事務の委託 発注業務（公募・審査）	令和6年度 との相違点	R7 実施設計等	令和7年度 との相違点	R8 建設工事
今後の展開	R11 一般廃棄物処理施設稼働	目標	新ごみ処理施設稼働に向け1市2村連携し取り組む。	目標	新ごみ処理施設稼働に向け1市2村連携し取り組む。

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名		歴史的資料整理公開活用事業											
令和5年度 事業費	30,149	千円	令和6年度 事業費	18,514	千円	対前年度 増減額	▲ 11,635	千円	総事業費 (令和6～8年度)	86,090	千円	事業区分	継続事業（公約）

事業概要 NPO法人琉米歴史研究会が、中城村に寄贈した沖縄に関する膨大な量の写真等各種資料(1944～1960年代に米軍関係者が撮影)の整理、情報収集を行い公開活用を図っていく。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します										企画課	
	基本施策	⑩文化財を保存・継承します										担当係	企画調整係
	分野	10-1 歴史環境の保存・活用										担当名	比嘉・花城
	その他関係施策											内線番号	221・222
事業期間	令和	4	年	～	令和	9	年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
琉米歴史研究会から寄贈された膨大な量の資料は、現在ではほとんど失われてしまった戦前から戦後間もない頃の沖縄各地の風景や人々の生活を知ることのできる貴重な資料である。これら資料は、ほとんど整理されておらず公開できる状況にない。フィルム等の劣化も進行しつつあることからデジタル化も実施する必要がある。これら貴重な資料の公開、活用を図っていくためにも当該事業を実施する必要がある。					<ul style="list-style-type: none"> 資料を活用した展示会を護佐丸歴史資料図書館で開催する事で、戦前～1960年代までの沖縄の歴史を多くの人に知ってもらうことができ、護佐丸歴史資料図書館の活用にもつながる。 他市町村と連携した企画展を開催したり、学校教育等に活用できる。 				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
報酬	9,291	調査員4人	報酬	9,351	調査員4人	報酬	9,406	調査員4人
期末勤勉手当	3,485	調査員4人	期末勤勉手当	3,506	調査員4人	期末勤勉手当	3,527	調査員4人
旅費	384	調査員交通費	旅費	384	調査員交通費	旅費	384	調査員交通費
共済費	2,094	調査員4人	共済費	2,143	調査員4人	共済費	2,155	調査員4人
需用費	1,064	消耗品・印刷製本費	需用費	1,064	消耗品・印刷製本費	需用費	1,064	消耗品・印刷製本費
役務費	38	複写代・通信運搬費	役務費	38	複写代・通信運搬費	役務費	38	複写代・通信運搬費
使用料	28	駐車場使用料	使用料	128	駐車場使用料・施設使用料	使用料	128	駐車場使用料・施設使用料
委託料	2,130	展示パネル等作成設置業務	委託料	2,130	展示パネル等作成設置業務	委託料	32,130	資料管理公開システム構築業務・展示パネル等作成設置業務
合計	18,514		合計	18,744		合計	48,832	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	14,811	千円 80.0%	県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	14,995	千円 80.0%	県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	39,065	千円 80.0%
地方債			千円	地方債			千円	地方債			千円
その他()			千円	その他()			千円	その他()			千円
一般財源		3,703	千円 20.0%	一般財源		3,749	千円 20.0%	一般財源		9,767	千円 20.0%

令和6年度目標 (KPI等)	<ul style="list-style-type: none"> 各種資料の情報収集 展示会の開催 	令和6年度との相違点	引き続き各種資料の情報収集を行い、情報収集のための展示会を他市町村で実施する。	令和7年度との相違点	引き続き各種資料の情報収集を行い、情報収集のための展示会を他市町村で実施する。
今後の展開	R6～7資料の情報収集、R8資料管理公開システム構築	目標	<ul style="list-style-type: none"> 各種資料の情報収集 展示会の開催 	目標	<ul style="list-style-type: none"> 各種資料の情報収集 展示会の開催 資料管理公開システムの構築

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名		中城城跡整備事業											
令和5年度 事業費	46,128	千円	令和6年度 事業費	36,931	千円	対前年度 増減額	▲ 9,197	千円	総事業費 (令和6~8年度)	116,731	千円	事業区分	継続事業（公約）

事業概要 中城城跡の保存・活用を図るため、発掘調査を始めとした各種調査や修復工事などの整備事業を実施する。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します										生涯学習課	
	基本施策	⑩文化財を保存・継承します										担当係	文化係
	分野	10-1 歴史環境の保存・活用										担当名	太田樹也
	その他関係施策	⑧中城の美しい自然環境を保全します										内線番号	322
事業期間	令和	6	年	～	令和		年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
中城城跡は築城から600年余り経過しており、城内各所に危険個所が生じている。そのためこれらの修復を行い、発掘調査により歴史や構造を解明して史跡の保存・活用を図っていく必要がある。年々文化庁の補助額が減少しており、事業計画が遅延している。また、史跡の正しい価値を観覧者に理解してもらい、より集客を図るため近隣に博物館を建設する必要がある。					城壁等の修復を行うことで史跡を恒久的に保存する事ができ、危険個所が減ることで観光客の観覧範囲も広がる。また、これまでの発掘調査により築城技術やグスクの歴史、海外との交易状況も徐々に解明されつつある。その成果をグスク博物館ができるまでの間、護佐丸歴史資料図書館で公開して、中城城跡に関する情報発信を行うことで、さらなる集客を図ることができる。				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
報酬	8,426	資料整理3・発掘作業4、整備委員	報酬	7,475	資料整理3・発掘作業4、整備委員	報酬	7,475	資料整理3・発掘作業4、整備委員
職員手当等	2,656	資料整理3	期末手当	1,390	資料整理3	期末手当	1,390	資料整理3
報償費	36	専門家鑑定謝礼	報償費	36	専門家鑑定謝礼	報償費	36	専門家鑑定謝礼
旅費	939	県外旅費・交通費	旅費	889	県外旅費・交通費	旅費	889	県外旅費・交通費
需用費	283	消耗品・燃料	需用費	1,712	消耗品・燃料・報告書印刷製本	需用費	312	消耗品・燃料
委託料	8,459	設計監理・測量等	委託料	4,000	設計監理・測量等	委託料	4,000	設計監理・測量等
借上料	930	車両等	借上料	898	車両等	借上料	898	車両等
工事請負費	15,202	修復工事	工事請負費	24,200	修復工事	工事請負費	24,200	修復工事
合計	36,931		合計	40,600		合計	39,200	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	国宝重要文化財保存整備費補助金	29,464	千円 79.8%	国庫補助金名	国宝重要文化財保存整備費補助金	32,400	千円 79.8%	国庫補助金名	国宝重要文化財保存整備費補助金	31,280	千円 79.8%
県補助金名	文化財保存事業費補助金	880	千円 2.4%	県補助金名	文化財保存事業費補助金	972	千円 2.4%	県補助金名	文化財保存事業費補助金	938	千円 2.4%
地方債	2,4%		千円	地方債			千円	地方債			千円
その他()			千円	その他()			千円	その他()			千円
一般財源		6,587	千円 17.8%	一般財源		7,228	千円 17.8%	一般財源		6,982	千円 17.8%

令和6年度目標 (KPI等)	平成28年度以降、年次計画にしたがって進めてきた一の郭北側城壁の修復(積み直し)や正門側面の石積み崩落防止の安全対策を行う。	令和6年度との相違点	一の郭北側城壁(西側半分)の修復(積み直し)を行う。	令和7年度との相違点	一の郭北側城壁中央付近の整備 一の郭内の整備
今後の展開	令和7年度に一の郭の整備を完了し、令和8年度からは西の郭東側の整備を開始する。	目標	一の郭北側城壁(西側半分)の修復(積み直し)を行う。	目標	・一の郭北側城壁中央部の積み直し ・一の郭への文化財説明版の設置 ・一の郭内の不陸整備

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名	中城ハンタ道整備事業												
令和5年度事業費	20,569	千円	令和6年度事業費	17,309	千円	対前年度増減額	▲ 3,260	千円	総事業費(令和6～8年度)	68,709	千円	事業区分	継続事業

事業概要 歴史の道「中城ハンタ道」の未整備区間約250mの整備を行う。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します										生涯学習課	
	基本施策	⑩文化財を保存・継承します										担当係	生涯学習係
	分野	10-1 歴史環境の保存・活用										担当名	太田樹也
	その他関係施策	⑧中城の美しい自然環境を保全します										内線番号	322
事業期間	令和	6	年	～	令和		年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
中城ハンタ道の未整備区間(県営公園内ホテル廃墟跡)の整備を実施し、全線を開通させてさらなる活用を図っていく必要がある。文化庁の補助額が当初想定した額より少なく、今後も増加が見込めないことから、当初予定していた令和7年度の事業終了が令和10年度まで延びる予定となった。令和6年度に年次計画の見直しを行う予定である。					<ul style="list-style-type: none"> 中城ハンタ道を全線開通させることにより、道のさらなる活用を図ることができる。 観光協会と連携して、中城城跡や県営公園と包括的活用を図ることで本村の観光振興に資することができる。 				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
報酬	3,704	資料整理1・発掘作業4、整備委員	報酬	2,938	資料整理1・発掘作業4、整備委員	報酬	2,938	資料整理1・発掘作業4、整備委員
職員手当等	886	資料整理1	期末手当	464	資料整理1	期末手当	464	資料整理1
旅費	566	交通費・県外旅費	旅費	216	交通費	旅費	216	交通費
需用費	208	消耗品	需用費	176	消耗品	需用費	166	消耗品
委託料	2,607	設計監理・測量等	委託料	3,046	設計監理・測量等	委託料	3,046	設計監理・測量等
借上料	263	修復工事	工事請負費	18,260	修復工事	工事請負費	19,470	修復工事
工事請負費	9,075	修復工事						
合計	17,309		合計	25,100		合計	26,300	

令和6年度				令和7年度				令和8年度			
国庫補助金名	金額	千円	割合	国庫補助金名	金額	千円	割合	国庫補助金名	金額	千円	割合
国庫補助金名	国宝重要文化財保存整備費補助金	13,767	79.5%	国庫補助金名	国宝重要文化財保存整備費補助金	20,000	79.7%	国庫補助金名	国宝重要文化財保存整備費補助金	20,960	79.7%
県補助金名	文化財保存事業費補助金	411	2.4%	県補助金名	文化財保存事業費補助金	600	2.4%	県補助金名	文化財保存事業費補助金	628	2.4%
地方債				地方債				地方債			
その他()				その他()				その他()			
一般財源		3,131	18.1%	一般財源		4,500	17.9%	一般財源		4,712	17.9%

令和6年度目標(KPI等)	整備予定区間の南側約40mの整備	令和6年度との相違点	整備予定区間の中央部約60mの整備	令和7年度との相違点	整備予定区間の中央部約60mの整備
今後の展開	R4～9年度：整備工事 R10年度：サインの設置整備報告書の発刊	目標	未整備区間の中央部約60mの整備	目標	未整備区間の中央部約60mの整備

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 文化財整備事業													
令和5年度 事業費	7,980	千円	令和6年度 事業費	2,160	千円	対前年度 増減額	▲ 5,820	千円	総事業費 (令和6～8年度)	2,160	千円	事業区分	継続事業

事業概要 損指定史跡「新垣の県道開削記念碑」の隣接位置に、同碑に刻まれた碑文の説明板を設置する。	第五次総合計画での位置付け										担当課		
	施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します										生涯学習課	
	基本施策	⑩文化財を保存・継承します										担当係	文化係
	分野	10-1 歴史環境の保存・活用										担当名	太田樹也
	その他関係施策											内線番号	322
事業期間	令和	6	年	～	令和		年	積算資料	有				

事業を実施する必要性と現状の課題	事業実施効果
新垣の県道開削記念碑は建立から長い年月が経ち、風化により表面に刻まれた文面が読み取りづらくなっている。付近には文化財説明板を設置してはいるが、碑の建立経緯や文化財指定の意義については記載しているが、碑文については示していない。そのため、自治会からの要望もあり当該文化財のもつ正確な情報を訪れた人に理解してもらうため碑文を記載した説明板設置等の工事を行う。	当該文化財の詳細な情報を発信することができ、さらなる活用を図ることができる。

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
委託料	660	用地測量業務委託						
工事請負費	1,500	説明板の設置等工事						
合計	2,160		合計			合計		

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円		国庫補助金名		千円	
県補助金名	沖縄振興特別推進交付金	1,728	千円 80.0%	県補助金名				県補助金名			
地方債				地方債				地方債			
その他()				その他()				その他()			
一般財源		432	千円 20.0%	一般財源				一般財源			

令和6年度目標 (KPI等)	新垣の県道開削記念碑の近接位置への説明版を設置する	令和6年度 との相違点		令和7年度 との相違点	
今後の展開	小学校の地域散策や、文化財巡り等で活用する	目標		目標	

実施計画書（令和6年度～令和8年度）



事業名 文化振興事業													
令和5年度 事業費	7,252	千円	令和6年度 事業費	1,570	千円	対前年度 増減額	▲ 5,682	千円	総事業費 (令和6～8年度)	4,710	千円	事業区分	継続事業

事業概要			第五次総合計画での位置付け						担当課				
中城村の文化振興、村民への文化活動の推奨と、身近に文化事業を感じてもらえる環境の構築を担っている村の文化的補助金交付団体（文化協会、中城ジュニアオーケストラ）に対し、補助金を交付して育成支援を行う。			施策の大綱	3. 豊かな自然と歴史文化を守り継承します						生涯学習課			
			基本施策	⑩文化財を保存・継承します						担当係	文化係		
			分野	10-2 伝統文化・民俗芸能の継承						担当名	太田樹也		
			その他関係施策							内線番号	322		
事業期間			令和	6	年	～	令和	8	年	積算資料	無		

事業を実施する必要性と現状の課題					事業実施効果				
育成団体の自主活動の活性化のため、補助金の交付などの支援が必要である。					本村の文化活動が充実させ、村民への文化活動の推奨を図ることで村民の生活向上にもつながり、地域の文化振興の発展に資することになる。				

令和6年度			令和7年度			令和8年度		
予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容	予算項目	事業費(千円)	内容
補助金	1,370	文化協会	補助金	1,370	文化協会	補助金	1,370	文化協会
補助金	200	中城ジュニアオーケストラ	補助金	200	中城ジュニアオーケストラ	補助金	200	中城ジュニアオーケストラ
合計	1,570		合計	1,570		合計	1,570	

財源内訳				財源内訳				財源内訳			
国庫補助金名	千円	県補助金名	千円	国庫補助金名	千円	県補助金名	千円	国庫補助金名	千円	県補助金名	千円
地方債		地方債		地方債		地方債		地方債		地方債	
その他()		その他()		その他()		その他()		その他()		その他()	
一般財源	1,570	千円	100.0%	一般財源	1,570	千円	100.0%	一般財源	1,570	千円	100.0%

令和6年度目標 (KPI等)	各団体の活動活性化と会員数の増加	令和6年度 との相違点	令和6年度と同じ	令和7年度 との相違点	令和6年度と同じ
今後の展開	日常の練習と自主公演会の実施	目標	令和6年度と同じ	目標	令和6年度と同じ